

# E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

アドバンス・ケア・プランニングの実践を学ぶ  
「意思を推定する者を選定する」

# ロールプレイ②をしてみよう

以下の2つに着目して行います

- 一般的なルールを使ってみる
- 本人の意思を推定する者を選定し、話し合いに加わっていただく

# 事例…

- 楠木さん。現在84歳。男性。
- 低肺機能、軽度の心不全、胆嚢摘出術の既往
- 78歳の時に脳梗塞を発症し、それを機に日常生活動作能力が低下したが、自分の身の回りのことは自分で出来ていた。
- 今年84歳になった。変形性膝関節症の増悪で全人工膝関節置換術を受けたが、大半をベッド上で過ごす日常生活となり、通院もままならなくなり、訪問診療を受けるようになった。

## ・・・事例・・・

- 膝の手術から3ヶ月後に誤嚥性肺炎を発症し、自宅で1週間の抗菌薬治療を受けた。
- 1ヶ月前（膝の手術から5ヶ月後）にも発熱し、往診で誤嚥性肺炎と診断。酸素飽和度が60%台と著しい呼吸不全をきたしていたため、救急搬送。救急外来で気管挿管、人工呼吸管理となりICUに入院。心不全増悪も合併し、生死をさまよった。
- 2週間の入院治療（ICU＋一般病棟での治療・リハビリ）後になんとか退院。

# ・・・事例

- 主治医は、今後も肺炎を繰り返す可能性が高いと判断している。
- 加えて、脳梗塞の再発や心不全増悪のリスクもあると判断している。
- 今日は退院後初めての外来。今後の治療・療養、家庭での生活を話し合う目的であなたのところに相談に来た
- もしものときについて話し合うことには 同意しており、話し合いがはじめられた
- 医療従事者であるあなたは、今から、楠木さんの意思を推定する者について話し合いたいと考えている

## ロールプレイ②

- 3人組を作ってください
- Aさん、Bさん、Cさんを決めてください
- まず、個人で作業をします。7分間で、自分が医療・福祉従事者役だったとして、自分がどんな言葉で話し始め、どのように声掛けをするか、書き出してみましよう

# ロールプレイ②

- Aさんは患者役
- Bさんは医療・福祉従事者役
- Cさんは意思を推定する者

CさんはAさんの子どもです。今日たまたま患者とともに来院しています。

意思を推定する者のCさんは、Aさんが自分（C）にAさんの意思を推定する者になってもらいたいと考えていることを初めて知ったと仮定してください

# ロールプレイ場面

- 今日は退院後の初めての外来です
- 医師からの紹介を受けて、今後の治療について話し合いを始めました
- 今から、意思を推定する者についての話し合いを開始してください
  
- 目標
  - 一般的なルールを使ってみる
  - 意思を推定する者を選定し、話し合いに加わっていただく



## …ロールプレイ②…

- 役になりきる : 2分
- ロールプレイ : 10分
- フィードバック : 5分
- 言葉の修正 : 3分

## …ロールプレイ②

- では、開始してください。
- 時間は10分間です。
- 時間が余ったら役を解かず、患者—医療・福祉従事者—意思を推定する者の関係で会話を続けてください

# フィードバック

- 一般的なルールを使ってみる
- 意思を推定する者を選定し、話し合いに加わっていただく

について、どのような点がよかったか、どんな話し方が有効だったか、改善すべきところはどこかを話し合ってください。

医療・福祉従事者役のワークシートを共に見ながら、話し合ってください。

# 言葉の修正

- フィードバックの内容を活かして、明日からの実践で使える言葉を完成させてください